

評価項目及び評価基準

1 評価点

評価点の算出方法は、選定委員 1 人当たり次の合計点数とする。

$$\begin{array}{rcccl} \text{企画審査点数} & + & \text{価格審査点数} & = & \text{合計点数} \\ (90 \text{ 点満点}) & & (10 \text{ 点満点}) & & (100 \text{ 点満点}) \end{array}$$

2 企画審査点の点数化の方法

企画審査点の配点は、表 1 評価項目における評価内容及び配点（以下「表 1」という。）に示す評価内容ごとに評価し、90 点満点とする。

3 価格審査の点数化方法

価格審査の配点は、10 点満点とする。価格審査における価格審査点数は、次の式によって算出する。

$$\text{価格審査点数} = \left(\frac{\text{最低見積価格}}{\text{提案価格}} \right) \times 10 \text{ 点}$$

※小数点第 3 位以下は切り捨てる。

4 最低基準点について

最低基準点は、審査基準の合計点数 100 点×選定委員会の委員数で算出される総得点の 6 割とし、最低基準点を満たさない提案者は原則選定しない。

なお、提案者全員が基準点を満たさない場合は、決定見送りとする。

5 同点の場合

審査の結果、最も合計点数が高い者が複数あるときは、表 1 の評価項目における「企画構成力・業務に対する理解度」と「デザイン・表現力」の合計得点が高い者を優先交渉者として選定する。

上記によってもなお同点となる場合は、「デザイン・表現力」の得点が高い者を優先交渉者として選定する。

表1 評価項目における評価内容及び配点

評価項目		評価内容	配点
企画 構成功率 ・ 業務に 対する 理解度	事業目的 の理解	新市誕生 20 周年と第 3 次小林市総合計画の 2 つの軸を十分に理解した実施方針となっているか。	10 点
	構成の 妥当性	ページ全体の流れが自然で、読者が飽きずに読み進められる工夫があるか。	5 点
		市民の生の声や表情、英語での概略説明などが現実的かつ効果的にページ構成に組み込まれているか。	5 点
	独自提案 の魅力	市の仕様を満たした上で、市の魅力をより引き出すための提案（その他の提案）があり、それが有効か。	5 点
デザイン ・ 表現力	第一印象 の強さ	表紙を見た瞬間、思わず手に取って開いてみたくなるようなインパクトと魅力があるか。	10 点
	祝祭感と 明るさ	表紙や誌面から 20 周年の特別感や未来への希望（前向きな印象）が感じられるか。	10 点
	統一性	誌面全体が統一感のあるデザインとなっているか。	5 点
	落ち着き と読みや すさ	余白（ホワイトスペース）を効果的に活用しているか。	5 点
		行政発行物としての落ち着きがあり、軽薄な（安っぽい・派手すぎる）印象を与えないか。	5 点
		文字（フォント）の大きさや種類は、高齢者を含めた幅広い世代にとって読みやすいものになっているか。	5 点
	写真・ 図説の 魅せ方	写真の大きさの強弱や配置などにより、効果的なレイアウトがされているか。	5 点
文字のみに依存せず、写真、視覚的装飾、ピクトグラム等の活用により、情報の視認性及び直感的な理解度を高める構成となっているか。		5 点	
実施体制 ・ 業務実績	類似業務 の実績	直近 5 か年で、他自治体の市勢要覧など、同等規模・類似業務の契約実績が十分にあるか。	3 点
	人員体制 の確実性	統括者（窓口）が明確であり、企画、デザイン、記事作成などの役割分担がしっかりされているか。	3 点
	写真撮影 の質	写真撮影を担当する者（外部発注含む。）の経歴や実績が記載されており、質の高い写真が期待できるか。	3 点
スケジュー ール	実現 可能性	企画会議から取材、撮影、原稿作成、デザインまでの作業工程が明確に示されているか。	3 点
		校正するための期間に無理がないスケジュールとなっているか。また、本市作業の負担軽減が図られているか。	3 点